

技術職員紹介資料※

※募集する業務区分は年によって異なりますので、求人票をご確認の上ご覧ください。

■ 技術職員とは？

技術職員には施設系と教育研究系がありますが、今回募集されている技術職員は後者となります。この資料における技術職員は教育研究系技術職員のことを示すものとします。技術職員は専門毎に分かれて、工作機械を用いた加工依頼の対応、学内ネットワークやシステムの維持・管理、共用分析装置の管理・測定、学内の安全管理業務など、教員や事務職員、企業等と密接に関わりながら学生への実践教育や研究支援、基盤（インフラ）の維持に関わるミッションを遂行する、大学になくてはならないプロフェッショナル集団です。営利を追求する企業とは異なり、我が国の研究力の向上や科学技術の発展、優秀な研究者や教育者の輩出に重きを置く国立大学において、適切な自由度や裁量を持ち、技術的なミッションや課題を一つ一つクリアしていくことには大変なやりがいがあります。

技術職員の身分は事務職員と同じ一般職員という立場で、待遇等も同一条件となります。新人研修や役職別研修などは事務職員と一緒に受講します。また、全ての技術職員は技術部という部に所属し、各センター等に配属されて実務を行います。



大学職員	一般職員	技術職員	課長・技術専門員・技術専門職員・技術職員等
		事務職員	課長・副課長・係長・係員等
	教育職員（教員）		教授・准教授・助教等

（上の表は技術職員の位置付けを分かりやすく示したもので、実際には色々な職員がいます）

■ ものづくりテクノセンターの業務

ものづくり系の技術職員はものづくりテクノセンターに配属され、主に工作機械を用いた技術業務を行います。

ものづくりテクノセンターでは授業における実習テーマの担当、全学構成員向けの各種安全講習会・技術講習会の開催、独自作業（工作機械利用者）へのアドバイスや委託作業（全学から引き受けた設計・製作依頼の対応）といった内容の業務を日々行っています。個々の能力や業務の受注状況に応じて担当が決まり、一人が複数の技術業務を担当することが一般的です。学内のあらゆる試作や加工の支援を行っているため、教員・学生との関わりや幅広い加工技術に触れる機会も非常に多く、新技術を柔軟に取り入れた加工にも挑戦します。



■ 情報基盤センターの業務

情報系の技術職員は情報基盤センターに配属され、主に学内の IT インフラに係る技術業務を行います。

情報基盤センターでは技術職員と教員が協力して学内ネットワークの維持管理、教職員・学生ポータルサイトやメールサービス等の運用、内製した各種ウェブアプリケーションの開発・改修、教育用端末や事務用シンクライアント端末の運用、IT サポート窓口での利用者対応、各種マニュアルやウェブページの作成といった内容の業務を日々行っています。個々の能力や希望に応じて担当が決まり、一人で複数の技術業務を担当することが一般的です。学内ネットワークや各種サービスは約 5 年に 1 度全面更新されるため、新しい技術や機器、サービスにいち早く触れる機会は多く、利用者である事務職員・教員・学生との関わりも多くあります。加えて、最新の知識や技術を習得するための研修受講や出張等も多い傾向があります。

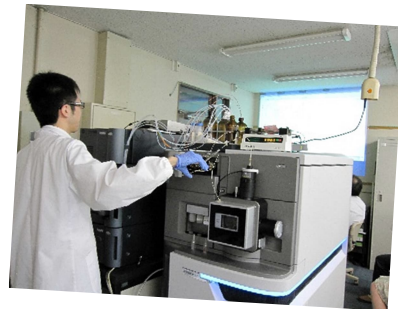


（裏面に続きます）

■ 産学官金連携機構（設備共用部門）の業務

分析系の技術職員は産学官金連携機構の設備共用部門に配属され、分析装置を用いた測定や維持管理に係る技術業務を行います。

産学官金連携機構の設備共用部門には学内の大型・共用教育研究設備（電子顕微鏡、核磁気共鳴装置、X線装置、質量分析装置等）が集約されており、設備（装置）を担当する教員と技術職員で管理を行っています。日々の業務としては、装置を定常的に稼働させるための日常点検等のメンテナンス、学内外からの依頼測定、学内の教職員、学生への測定指導などがあります。そのため教員や学生と直接関わる機会も多く、研究活動のための重要な部分を担っています。また各種装置メーカーの講習会や講演会に参加し、新技術や解析手法の習得も積極的に行っています。



■ 安全管理室の業務

技術職員の中で衛生工学衛生管理者の資格を有する一部の技術職員は安全管理室に配属され、職場の安全衛生管理業務を行います。

安全管理室では大学の安全衛生および防災・防犯や放射線・X線および高圧ガス等に関する安全管理のマネジメント等といった業務を日々行っています。特に毎年実施している各種安全講習会や防災訓練の企画・立案に関しては技術職員が中心となって実施しています。また、各センター等の担当を越えたチーム業務として、衛生管理者巡視や実験室等の作業環境測定も行っており、これらの業務は大学の安全衛生・管理を維持する上でなくてはならない重要なものです。



■ その他の業務や技術研鑽

配属先業務の他にも、技術部では社会貢献として地域の子供たちを対象とした工作・実験教室の実施や、技術の成果報告ならびに他大学の技術職員との交流を目的とした技術発表会の開催といった業務を毎年行っています。

入職時に専門的な知識が浅い場合でも、働きながら知識や技術を深めていくことが可能です。技術研鑽を目的とした各種研修制度も大変充実しており、日々の業務からの学びの他にも、民間等が実施する技術研修への出張参加やオンライン研修の受講、自主的に研修（ステップアップ研修）を企画して実施するなど、自由にスキルアップを追求できる環境も整っています。他大学との交流も盛んで、視察や研修参加、技術発表の機会もあります。

■ 待遇と働き方

立場は準公務員（会社員に近い立場）ながら雇用や待遇は国家公務員に原則準拠しており、原則として異動・転勤がないため、将来の人生設計を立てやすく、安定して長く働くことができる身分や職場です。

- | | |
|---------------------------------------|--------------------------------------|
| ● <u>月給：259,000 円以上</u> （一律手当含む） | ● <u>在宅勤務制度</u> あり |
| ● <u>時差出勤制度</u> あり（勤務時間を前後シフト可能） | ● 週休2日（土日祝は原則休み） |
| ● 育児・介護関連の休暇・休業・時短勤務も充実 | ● 特別休暇（夏季休暇・リフレッシュ休暇等）付与 |
| ● 技術部には <u>43 名</u> が在籍（2026 年 8 月現在） | ● 月平均残業時間は <u>5.3 時間</u> （2025 年度実績） |

➡待遇面の詳細は、下記の採用情報ページをご確認ください。

□ 技術部への問い合わせ先

tech-mail@adm.nitech.ac.jp

（担当） 技術部技術課

※質疑応答や職場見学等も可能です！

□ 採用情報ページ（QRコード）

